

大会運行表（県総合体育大会バレーボール大会）

県中体連バレーボール専門部

1 入場許可

◎警戒度レベル1の時

○感染対策をして実施。マスク着用、手指消毒、黙食など基本的な感染対策を徹底。

- ・ア【学校同行者体調記録表（顧問・生徒用）】に記載された生徒，顧問，部活動指導員（外部指導者）
- ・イ【学校同行者体調記録表（保護者用）】に記載された保護者・家族
- ・ウ【健康チェックシート】を提出した者

◎警戒度レベル2の時

○規模縮小して実施

○保護者・家族30名まで入場可。

- ・ア【学校同行者体調記録表（顧問・生徒用）】に記載された生徒，顧問，部活動指導員，外部指導者
- ・イ【学校同行者体調記録表（保護者用）】に記載された保護者・家族30名（入替は×）
- ・ウ【健康チェックシート】を提出した県中体連役員，小中高教員，県協会役員，クラブ等指導者，外部業者（卒業アルバム撮影用写真屋など）・メディア関係者（下野新聞等）

○入場不可→チーム関係者(OB・OG等高校生・大学生・社会人問わず)やチームに無関係の一般観戦者。

- ・顧問は、上記アを毎日、2枚提出。（体育館提出用と専門部保管用）
- ・保護者代表者は、上記イを毎日、2枚提出。
- ・上記ウに該当する者は、ウを毎日、2枚提出。

・上記ア、イ、ウに該当する者（生徒は除く。マネージャーは含む）は、IDカード、ネームホルダーを各自で作成・購入して、つけること。（サンプルデータをHPにアップ済み。ご利用ください。）

ない場合、入場不可。（バレーボール関係者全員がネームホルダーを首からかけていることになる。）

・大会関係者（県中体連役員・審判員）は、IDカード、ネームホルダーを県春季大会で配布済み。持参のこと。

※大会中、県役員が応援席の保護者30人以内であることを確認します。不正があった場合（入場許可書を30枚以上作成し、不正に入場するなど）、学校同行者体調記録表（保護者用）の名前を確認させていただき、不正が確認でき次第、そのチームの保護者全員、退場していただきます。（試合を止める場合もあり得ます）

2 参加者共通

- ・参加校が提出する【学校同行者体調記録表】に記載されていない者の入場は認めない。
- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・マスクを持参し、着用する。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ・他の参加者(生徒、顧問、外部指導者、役員、観客)との距離(できるだけ2m以上)が確保する。特に生徒
 - ・感染リスクの高いゴミ(唾液等が付着したマスクやティッシュ、使用済のテーピング等)はビニール袋に密閉
 - ・ゴミは必ず各自で持ち帰る。
 - ・感染防止のために運営責任者が決めたその他の措置の遵守、運営責任者の指示に従う。
 - ・大会等終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局(県中体連バレーボール専門部)に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

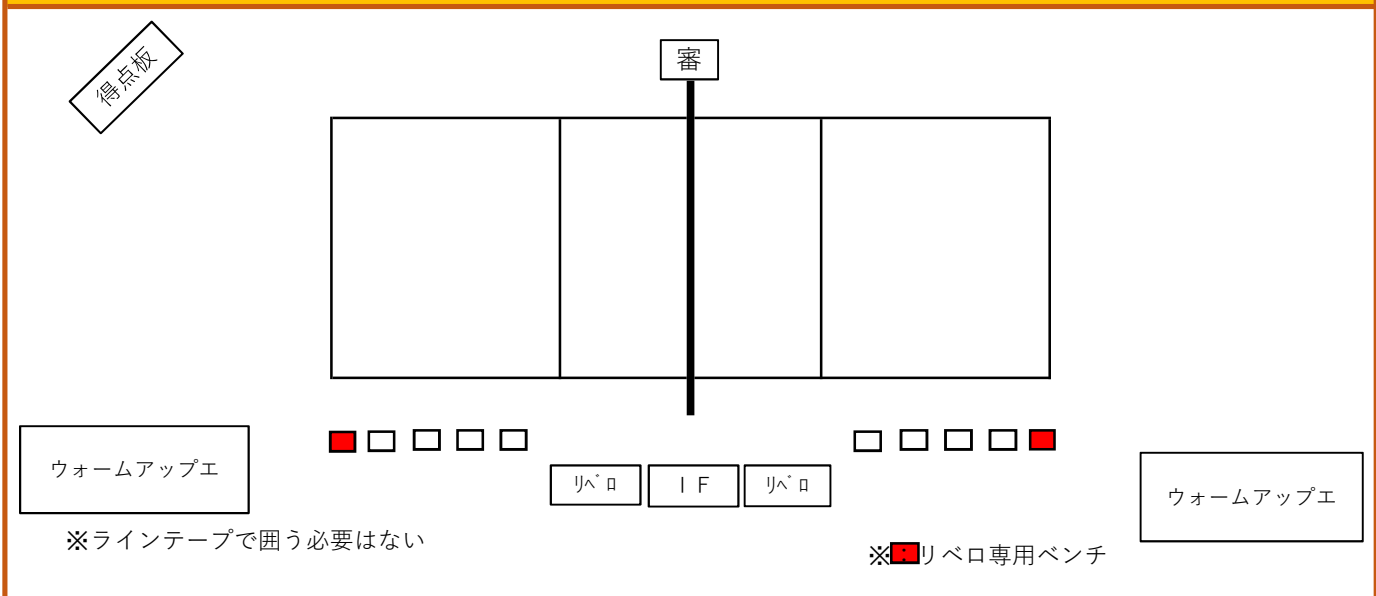
3 入場 及び 退場

4 受付

- ・ 入場資格のない者の入場を防ぐため、会場入口に常時受付を設置する。【 、 】
(中学校教員以外の者, 保護者30名以外, など)
- ・ 受付分担は県専門部役員を中心に行う。

No.3

5 会場設営



※ラインテープで囲う必要はない

6 競技全般

【プレーに関わる場面】

- ・ワンプレーごとにボールの消毒（タオルで拭く）を行う。3ボールシステムで行う。
ボールデッド毎にボールをリベロチェッカーに戻し、副審はサーバーへボールを供給する。
リベロチェッカーはボールを拭く。
なお、ボールリトリバー（ボールの受け渡し、拭く係）を配置してもよい。
- ・コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して、一礼で行う。
- ・競技前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。
- ・試合開始時の始礼はエンドライン上で行い、そのままベンチに戻る。
- ・コートチェンジは行う。
- ・競技中のハイタッチは行わない。腕のタッチにとどめ、できるだけ控える。
- ・競技中、靴底を手で触らない。
- ・ネット際などで、相手に向けた状態での大声による発声は控える。
- ・13点時に給水および手指消毒のためのタイムアウトを設定する。その際、各チーム持参した消毒液を使用し、ベンチスタッフがプレーをしていた生徒の手指消毒を行う。プレーをしていた生徒はコートサイドよりベンチへ向かい、手指消毒を行って、ウォームアップエリアで給水を行う。
- ・ベンチではマスクを着用し、できるだけ離れて座る。ウォームアップエリアにおいても密に気をつけ、マスクを着用する。応援は拍手のみとする。
- ・リベロはマスクを着用せずに、コートの外で待機できる。（積極的に試合に出場するリベロに限る。）ただし、最後列ベンチ（中央から5脚目）をリベロ専用とし、ウォームアップエリアでは待機しない。スクイズボトルは専用ベンチ後方に置くなどして対応する。
※常時、リベロ2名が出場する場合は、ベンチ2脚（中央から4、5脚目）を使用する。選手交代をする際、ベンチスタッフが3名おり、交代選手用のベンチが空いていない場合は、監督ベンチ後方で待たせるなどで対応する。
- ・タオル、スクイズボトル、アイシングバッグなどの共用禁止。
- ・ベンチスタッフは常時マスクを着用し、大声による指示をしない。
- ・大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等は行わない。また、録音による応援の放送も行わない。
- ・セット間は、ベンチスタッフが生徒の手指消毒を行ってから、給水をさせたり指示を出すものとする。

7 審判活動、試合後

【審判活動】

- ・全ての審判員、補助員がマスクを着用して試合に臨む。
- ・主審、副審は各自持参したホイッスルにマスク着用し、使用する。
- ・線審フラッグは各校持参したものを使用し、他校との共有はしない。なお、フラッグの使用後や、使用者が変わる場合は消毒を行う。
- ・審判活動終了後は、うがい、手洗い、手指の消毒を実施する。

【試合後】

- ・うがい、手洗い、手指の消毒を実施する。
- ・ベンチスタッフは、使用したベンチに消毒液を吹き付けてから、次チームに引き渡す。
- ・連続試合とならないベンチスタッフは、対戦校スタッフと協力し、次の備品類に消毒液を吹き付ける。
[審判台] [I F テーブル、ベンチ] [得点板]